

令和7年6月6日
海事局総務課国際企画調整室
船舶産業課

海事分野における日本・ノルウェー間の更なる協力強化で一致

～寺田国土交通審議官がノルウェー訪問～

寺田国土交通審議官がノルウェーを訪問し、ノルウェーとの二国間ハイレベル会合において海事分野の協力関係について議論し、今後さらに協力を深めていくことで一致しました。

また、寺田国土交通審議官は、「ノル SHIPPING 2025」(※)に参加し、ノルウェー政府主催の「多国間海事ハイレベル会合」において「海事産業のグリーン移行」をテーマにスピーチを行うとともに、ノル SHIPPING 展示会場のオープニングに際して日本パビリオンのテープカットを行いました。

(※) ノル SHIPPING : 造船・船用工業事業者が出展する世界有数の国際海事展として隔年で開催。

寺田国土交通審議官が参加した主なイベントは以下のとおりです。(詳細別紙)

1. ノルウェー王国との二国間ハイレベル会合

開催日：令和7年6月2日(月)

場所：ノルウェー貿易産業漁業省 会議室(オスロ)

出席者：日本 寺田国土交通審議官

ノルウェー サーゲバッケン貿易産業漁業省副大臣

2. 多国間海事ハイレベル会合

開催日：令和7年6月2日(月)

場所：迎賓館(オスロ)

出席者：ネス漁業海洋政策大臣(ノルウェー)、寺田国土交通審議官(日本)の他、インド、ブラジル、米国、中国からハイレベルが出席。その他、海運企業や国際機関から多数出席。

3. インドとの二国間ハイレベル会合

開催日：令和7年6月2日(月)

場所：クラリオンホテル(オスロ)

出席者：日本 寺田国土交通審議官

インド サルナンダ・ソノワル港湾・海運・水路大臣

4. ノル SHIPPING 2025 日本パビリオン(開会式)

開催日：令和7年6月3日(火)

場所：ノル SHIPPING 会場(リレストレム)

(問い合わせ先)

代表：03-5253-8111

○海事局 総務課国際企画調整室 中尾(内線：45601) 直通：03-5253-8612

○海事局 船舶産業課 福田(内線：43624) 直通：03-5253-8634



1. ノルウェー王国との二国間ハイレベル会合

寺田国土交通審議官とサーゲバッケン ノルウェー王国 貿易産業漁業省副大臣との間で両国の海事政策について意見交換を行いました。

両国は、国際海事機関(IMO)における協力関係に感謝するとともに、本年4月に基本合意された国際海運におけるゼロエミッション燃料船の導入促進のための条約改正案について、10月の会合で確実に採択されることが重要であり引き続き協力していく旨を確認しました。

また、ノルウェー側より、経済協力開発機構(OECD)造船委員会におけるゼロエミッション船等への船舶輸出金融の優遇措置の導入等に関する日本のリーダーシップに感謝する旨の発言があり、日本より、同委員会の議長を務めるノルウェーのリーダーシップに感謝するとともに、OECDに加盟していない主要造船国の参加を呼びかけていくことが必要である旨述べました。

さらに両国は、自由貿易と海上運送の自由の確保が重要であるという認識を共有し、シーレーンの安全確保に係る地政学的リスクや一部の国における保護主義的な措置への対応等に関する意見交換を行いました。

最後に、海事分野において引き続き両国が協力して取り組んでいくことを確認しました。



会談の様子(左から2番目:サーゲバッケン副大臣、右:寺田国土交通審議官)

2. 多国間海事ハイレベル会合

ノル SHIPPINGの開会に先立ち、ネス ノルウェー王国 漁業・海洋政策大臣の主催により、主要参加国政府やノルウェーの海事関連企業の経営者が参加した「多国間海事ハイレベル会合」が開催されました。同会合では、「グリーン移行」をテーマに議論が行われ、寺田国土交通審議官が、国際海事機関(IMO)における国際規則の策定への貢献、ゼロエミッション船舶の技術開発、低炭素燃料を扱う船員向けのキャパシティビルディングの実施等の我が国における国際海運の脱炭素化に向けた取組を紹介するとともに、我が国が引き続き国際的に積極的に貢献していく旨をスピーチしました。



スピーチを行う寺田国土交通審議官(写真 左から2番目)

3. インドとの二国間ハイレベル会合

寺田国土交通審議官とサルナンダ・ソノワル インド 港湾・海運・水路大臣との間で両国の海事政策について意見交換を行いました。

インド側より、海事産業における日本のこれまでのインドへの協力の感謝と今後の協力の可能性について言及がありました。

日本側より、日本はこれまで鉄道分野をはじめ日印協力に力を入れてきており、今後、海事分野における日印協力の可能性について検討していきたい旨述べました。

4. ノル SHIPPING 2025 日本パビリオン

ノル SHIPPING では、日本の造船事業者9社、船用工業事業者 10 社が共同で日本パビリオンを設置しました。各社が開発した新船型や、国際海運からの GHG 排出ゼロの目標達成に向けたゼロエミッション船の開発など、次世代船舶・技術を中心に日本の最新の技術力をアピールしました。



日本パビリオン



右より金花日本船舶輸出組合理事長、
寺田国土交通審議官、
杉山駐ノルウェー日本国大使、
木下日本船用工業会会長